

目 次

【招待講演】

佐藤 彰洋（京都大学大学院情報学研究科数理工学専攻）	1
津波ハザード推定のための極値理論の応用と津波ハザードメッシュデータの 利活用	
仲井 圭二（(株) エコー）・橋本 典明（九州大学大学院）・川口 浩二（湾岸空港技術 研究所）・額田 恭史（(株) エコー）・井上 亮一（(株) エコー）	15
経年的な増減傾向を持つ年最大値資料を用いた極値統計解析に関する提案	
尾関 暁史（日本イーライリリー）・Kjell Doksum（ウィスコンシン大学マディソン校）	27
Analysis of Extremes: Semiparametric Efficiency	
田中 耕司（(株) 建設技術研究所）	44
上位 r 個を用いた極値統計解析による超過確率 1000 年規模の雨量に対する検証	
高橋 倫也（神戸大学 名誉教授）	50
一般パレート分布の拡張 - 閾値の選択法 -	
小林 健一郎（神戸大学 都市安全研究センター）	63
ガーナの天候インデックス保険の検討	
北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）	64
極値統計解析は、なぜ難しいのか？	
山地 秀幸・川崎 将生・深見 和彦（国土技術政策総合研究所）	69
外水及び内水の同時生起を考慮した氾濫計算	

北野 利一（名古屋工業大学 社会工学専攻）	78
2 変量パレート分布を用いた降雨の同時頻度解析	
田中 茂信（京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター）	87
AMeDAS 降水量と d4PDF を用いた面積平均降水量の極値の比較	
西郷 達彦（山梨大学 大学院 総合研究部）	95
極値過程の拡張について	
志村 隆彰（統計数理研究所）	100
極値解析国際会議 EVA2017(Delft) 報告	